

__アイオワ州における活動実態について__

大阪樟蔭女大学芸 ○一棟宏子 同 岩田三千子 大手前女短大 大野治代

目的：Cooperative Extension Service（以下Extensionと略す）はアメリカの州立大学の付属機関で、地域の社会教育を担う活動拠点である。本研究は、アイオワ州立大学のExtensionを事例として、Extension活動の全体像を把握することを目指している。

方法：アイオワ州立大学ExtensionのHousing SpecialistであるDr.Yearnに対する聞き取り調査および同Extensionの1992年度年報の分析による。

結果：Extensionは国、州、地方における専門家の意見や協力に基づいて作られた教育システムであり、実際には農務省のExtension Service、Land Grant大学のExtension、州におけるCountyの専門職や多くのボランティア、公的・私的外部団体の連携で成り立っている。

1)アイオワ州の場合、その活動範囲は健康管理、コミュニティ活動、廃棄物管理、Parenting、育児、青年会の発展（4 Hクラブ）、高齢者問題、経済管理、特別助成金事業、市民権問題の10分野にわたっている。2)活動内容は、各種講座の指導者ガイド、ニュースレター、ファクト・シート等の出版物（9分野）、ビデオやスライド作成（5）、新聞・テレビ、ラジオ等マスメディアの利用（4）、単独あるいは連続講座（7）が中心であり、このほか展示（1）、カウンセリング（2）が行われ、18団体と提携している。